

第1学年国語科学習指導案

日 時 平成27年10月29日(木) 5校時

対 象 1年生 男5名 女3名 計8名

指導者 多田 幸子

1 単元名 のりもののことをしらべよう

2 教材名 「いろいろなふね」 東京書籍1年下

3 教材について

(1) 児童について

観 点	実 態 等
学習活動の経緯	<ul style="list-style-type: none"> ・1年上の説明文「どうやってみをまもるのかな」では、書かれている内容を正しく読み取り、「問い」と「答え」の文を抜き出す学習を行った。動物の体の特徴や身の守り方を表す大事な言葉を見つけて、サイドラインを引く学習を行ってきた。 ・「かいがら」では、人物の行動や会話を中心に、場面の様子を想像しながら読む学習を行ってきた。
読み取りの状況	<ul style="list-style-type: none"> ・物語文では、人物の登場する順序や人物の行動に着目し、場面の様子について想像を広げながら読むことができるようになっているが、叙述からかけ離れていることがある。 ・文章全体の順序に気をつけながら読むことが難しい児童がいる。 ・知っている語彙が少なく、内容を理解するのに時間がかかる児童がいる。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・国語の学習に意欲的な児童が多い。 ・読む目的に応じて本を選んだり、文章から大事な言葉を書き抜いたりする経験が少ない。 ・自分が考えたことを発表しようとするが、自分の言いたいことをまとめることができない児童が見られる。

(2) 単元で身につけたい力

学習指導要領との関連	<p>C 読む</p> <p>(1) イ 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。 エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。</p>
本教材の特色と活用	<p>本教材は、特徴的な機能をもった四種類の船を例として取り上げ、役目や構造、装備などを紹介している。それぞれの例示が同じ文章構成、同じ文型で説明されており、叙述に即して内容をとらえるのに適している。船についてどんなことがどのように書かれているかを読み取る学習を通して、科学的な絵本や読み物など、説明的な文章にも読書を広げることができると思う。読む目的を意識して本を選び、内容を正確にとらえる力をつけるのにふさわしい教材である。</p>

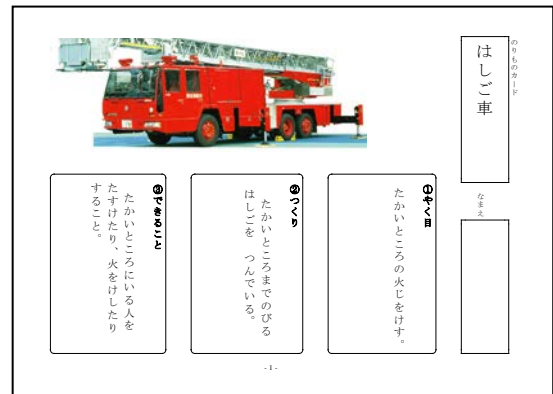
以上のことをふまえ、本単元でつきたい力を次のように考えた。

○順序に気をつけて読み、書かれている内容を正しく読む力

なお、本単元では、文章を読む力に加え、情報を収集する力と活用する力を身につけることをねらいとしている。そこで、単元を貫く言語活動として、教材文や図鑑から乗り物について調べたことを「乗り物カード」にまとめる活動を設定した。

「乗り物カード」に書かせる内容は、図鑑や絵本から、自分が選んだ乗り物の「役目」「つくり」「できること」である。

これらは、指導事項の事物の仕組みなどについて説明した本や文章を読み、大事な言葉を書き抜くことと関連している。



(3) 指導にあたって

①【自分の考えをもたせる読み取りのための活動について】西地区視点1

- ・単元の最初に紹介カードの例を提示することで、具体的な学習のゴールをイメージさせ、意欲付けを図る。
- ・順不同にした教材文を提示して、既習事項を想起しながら、文末表現を手がかりに「役目」「つくり」「できること」を考えさせる。
- ・学習シートを使いながら、それぞれの船についてどんな役目があってどんな工夫をしているかをまとめられるようにする。

②【伝え合う活動について】西地区視点2

- ・ペア学習の進め方を提示して、お互いの考えを伝え合う場を設定する。

4 単元指導計画

(1) 単元の目標と評価

単元の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・乗り物に興味を持って教材文を読んだり、好きな乗り物について調べたりしようとしている。 ・書かれている内容を事柄ごとに正しく読み取り、ほかの本で読んで調べたことをまとめることができる。 ・主語と述語の関係に注意して文章を読んでいる。 		
評価規準	関心・意欲・態度	読 む	言語についての知識・理解
	乗り物に興味をもって説明文を読んだり、好きな乗り物について調べようとしたりしながら乗り物カードをつくらうとしている。	乗り物の「やく目」「つくり」「できること」を表す大事な言葉や文を見つけながら読んでいる。	文章の中の主語と述語の関係に注意して、文章を読むことができる。

(2) 学習計画 (11時間)

	時	学習内容	読み取りのための活動	主な評価規準
つかむ	1	「いろいろなふね」を通読し、船などの乗り物について興味をもち、自分で乗り物カードをつくるという見通しをもち、学習課題を立てる。	船について知っていることを話し合い、「いろいろなふね」の学習した後は、乗り物カードを作るという単元のゴールを確認して学習計画を立てる。	【関】乗り物に興味を持って説明文を読んだり、好きな乗り物について調べたりしようとしている。
	2	文章のおおまかな構成をとらえる。 平行読書する図鑑や本を選ぶ。	文章全体を読み、「話題提示」「きゃくせん」「フェリーボート」「ぎよせん」「しょうぼうてい」「まとめ」が書いてあることを確認する。 教室にある図鑑や本から、自分がカードに作りたい乗り物を選んで読む。	【読】事柄の順序に気をつけて、内容の大体と文章の構成を読み取っている。
わかる	3	「きゃくせん」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取り、カードにまとめる。	「きゃくせん」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取り、「きゃくせん」の文型と比べながら、カードにまとめる。	【読】文章に書かれている内容を、「やく目」「つくり」「できること」の事柄ごとに正しく読み取り、カードにまとめている。
	4	「フェリーボート」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取り、カードにまとめる。	「フェリーボート」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取り、「きゃくせん」の文型と比べながら、カードにまとめる。	【言】主語と述語の照応が正しい文で書くことができる。
	5 本時	「ぎよせん」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取り、カードにまとめる。	今までの船の文型を参考にし、「ぎよせん」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取り、カードにまとめる。	【読】文章に書かれている内容を、「やく目」「つくり」「できること」の事柄ごとに正しく読み取り、カードにまとめている。
	6	「しょうぼうてい」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取り、カードにまとめる。	今までの船の文型を参考にし、「しょうぼうてい」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取り、カードにまとめる。	【言】主語と述語の照応が正しい文で書くことができる。
	7	事柄の順序と、説明に使われている基本的な文型を理解する。	全体の文章構成を確認し、説明に使われている基本的な文型をおさえる。	【読】事柄の順序を読み取り、説明に使われている基本的な文型を理解することができる。

ふ か め る	9 10	自分が選んだ乗り物について「やく目」「くふう」「できること」をまとめ、カードを作る。	自分が選んだ乗り物の「やく目」「くふう」「できること」に付箋をつけて、基本的な文型を使ってカードに書き、できた乗り物カードをペアで確認する。	【読】乗り物の特徴が伝わるように、語と語とのつながりを意識しながら、カードに整理して書いている。
	11	カードを互いに読み合い、「やく目」「くふう」「できること」が書かれていたか、感想を交流する。	調べたことをまとめたカードを互いに読み合い、意見を交流する。書かれていることを、3つの観点「やく目」「くふう」「できること」について、読み取ったことをカードにまとめることができたか振り返る。	【関】「いろいろなふね」の学習を生かし、自分が選んだ乗り物のカードを作ろうとしている。 【言】主語と述語の照応に注意して文章を読んでいる。

5 本時の学習（5時間／11時間）

(1) 目標 「ぎょせん」の「やく目」と「つくり」「できること」を読み取り、カードにまとめる。

(2) 評価規準と具体的評価規準

評価規準	評価方法	具体的評価規準	努力を要する児童への具体的な支援
役目や工夫を表している大事な文や言葉を書き抜いている。	学習シート 発言	基本的な文型に沿って役目と構造を読み取っている。	「役目」「つくり」「できること」の基本的な文型を提示し、自分で見つけてまとめることができるようにする。

(3) 展開

段階	学習内容	◇読み取りのための活動 ・期待される児童の反応	・指導上の留意点 《評価》
導 入 5 分	1 本時の学習課題を確認する。	◇本時の学習課題を確認する。	・学習の手順を示しておく。
	ぎょせんの のりものカードをつくろう。		
展 開	2 前時の学習内容を想起し、学習の見通しを立てる。		・「さかなのむれ」「きかい」「あみ」など理解できるようにする。
	3 ぎょせんの「やく目」「つくり」「できること」について読み取る。 ・順番を変えた教材文を読む。 ・「つくり」の文の内容を読み取る。	◇漁船は、魚群探知機や魚を捕まえるための網を積んでいることを確かめる。	

<p>展開</p> <p>35分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「やく目」「つくり」「できること」を見つけて並べ替える。 一人学び→ペア ・全体で「やく目」「つくり」「できること」を確かめる。 <p>4 乗り物カードを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乗り物カードを全体で確認する。 <p>5 漁船について分かったことを発表する。</p>	<p>◇順番を変えた文から「やく目」「つくり」「できること」を見つけさせ、ペアで確かめる。</p> <p>◇基本的な文型「～ためのふね」「つんでいます」を根拠にして話し合わせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・船の名前がある文は、「やく目」の文です。 ・「～ためのふね」とあるので「やく目」の文です。 ・「つんでいます」とあるので「つくり」の文です。 ・「見つけたさかな」「あみでとります」とあるので、「できること」の文です。 <p>◇大事な言葉を書き抜いて、乗り物カードを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で「やく目」「つくり」「できること」が書かれているか確かめる。 	<p>《評価》「やく目」「つくり」「できること」を読み取ることができたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見つけたさかな」は魚群探知機で見つけた魚の群れであること、網でとった魚は大量であることをおさえる。 ・「できること」は漁船の装備（つくり）と関わっていることを理解させる。 <p>《評価》役目や工夫を表している大事な文や言葉を書き抜くことができたか。</p>
<p>終末</p> <p>5分</p>	<p>6 学習の振り返りをする。</p> <p>7 次の学習内容を知る。</p>	<p>◇本時でわかったことを振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ペア学習、伝え合いについて振り返らせる。

(4) 板書計画

おなじじゅんばん

ぎよせんの
すごいところ

いろいろなふね

ぎよせんの
のりものカードを
つくろう。

漁船の写真

ぎよせん

〈しごと〉

さかなを とるしごと

〈つくり〉

さかなを 見つけるきかいや
あみを つんでいます。

〈できること〉

見つけた さかなを とること。